学校教育目標：「よく考え　笑顔で　元気な　大海っ子の育成」

令和３年度
大海小 学校だより

おおみ

令和３年９月２９日

10月号

校長　喜多　由紀

１００人で最高の思い出を作りたい！

今年の運動会も。新型コロナウィルス感染防止対策を考慮しなければならず，種目内容にも制約がありましたが，晴天にも恵まれ，無事秋季運動会を開催することができました。子どもたちは高学年を中心に団結力を見せ，赤組も白組も最後まであきらめず，熱い思いで頑張ってくれました。

運動会のスローガン**『最後まで全力で協力してがんばろう』**には，「大海小１００人が全力で協力し合うことで，最高の思い出を作りたい」という願いが込められています。９月も厳しい暑さの日が続き，熱中症にも気をつけなければならず，運動場での練習も思うようにできませんでした。しかし，運動会を成功させようと苦心しながら，心を一つに練習に励む子どもたちの姿は，特に印象的でした。

また，前日の夕方や本番当日も早朝からテントの設営に，多くの PTA の皆様にご協力いただき，ありがとうございました。本当に最高の思い出となる運動会にすることができました。保護者の皆様の温かい声援，本当にありがとうございました。大海っ子達にとっては，心強い支えであり，活躍の原動力でした。

さて，来る１０月１５日には，高学年の子どもたちが，通学路のトンネルアートを完成させる予定です。今年も（株）日本ペイントの方やペイントアート作家の SHOGEN さんのご協力をいただいて実施します。学校も家庭も地域も元気にしたいと始まった『大海小トンネルアートプロジェクト』です。あたりまえのことがまだ難しい日常ですが，力まず素直でいることの大切さを実感させながら，**「一つたし算」**を心掛けて，今までやってきたことも，もうちょっと考えてみたり，見方を変えてみたりさせながら，新しい発見や工夫ができるように，これからの活動も進めていこうと思います。

１０月の生活目標・・・『ふわふわ言葉を使おう』

１０月は，時と場に応じた言葉遣いができること。人の気持ちを考え，温かい言葉かけ（ふわふわ言葉）ができること。この二点を目指して取り組みます。クラスで増やしたい「ふわふわ言葉」について話し合います。「ふわふわ言葉」は，思いやりの心を育むためのものです。「がんばれ」「いっしょにやろうよ」「いいね」「おめでとう」「だいじょうぶ」等，相手が気が楽になったり，勇気が湧いたり，元気になったり，喜んでくれる言葉のことです。また，**『いじめはいけないこと』**だとわかっていても，何気ない言葉が相手の心を傷つける場合があります。時にはケンカすることもあるでしょうが，仲直りができる**『ごめんね』**も，すぐに言えるようになってもらいたいと思います。ご家庭でも，ぜひ「ふわふわ言葉」で声掛けをしてあげてください。

１０月の学習目標・・・『人の話を最後まで聞く』

１０月は，どうすれば人の話をしっかりと聞くことができるかについて考えて取り組みます。その聞く力を伸ばすために，全員リレー発表などの「話す・聞くトレーニング」や「聞き方マラソン大会」を実施します。

毎日の授業でも **話を聞く → わかる → 勉強が楽しい** となるように，人の話に耳を傾けることの良さや大切さについて，ご家庭でもお話しください。